

# 武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第 31 号

発 行

武蔵野市教育委員会指導課  
令和 5 年 9 月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

検索



## デジタル・シティズンシップ教育をご存じですか？

デジタル・シティズンシップ教育では、「ICTを使うことが当たり前の社会に求められる『態度や知識・技能』を身に付ける」ことを目指しています。武蔵野市では2年前から全公立小中学校で取り組んでいます。これからは、デジタル機器を使いこなすことが当たり前の社会になります。

### 【今までの教育】

- 情報モラル教育
- デジタル機器やインターネットの使用についての危険性を教えることで、トラブルから遠ざける「〇〇しない」という禁止する取組



### 【これからの教育】

- デジタル・シティズンシップ教育
- 子どもたちが、自律的・創造的にデジタル機器を利活用するために、自分自身でよりよい使い方を考えられるようにする取組

そのため学校では、学習者用コンピュータのよりよい使い方を、子どもたち自身が考えて使うことができるような指導を行っています。ご家庭でも、学習者用コンピュータ等デジタル機器の使用する時間や機能等について、お子様と話し合う機会を作りより良い使い方を一緒に考えていただくようお願いいたします。

なお、昨年までの市の取組については下の URL か、右の二次元コードからご覧

いただけます。

[https://www.city.musashino.lg.jp/shussan\\_kodomo\\_kyoiku/sho\\_chugakko/1037763.html](https://www.city.musashino.lg.jp/shussan_kodomo_kyoiku/sho_chugakko/1037763.html)



## 国語の授業で「ICTのよりよい使い手」になるための学習をしました

市内の中学校2年生の国語の授業の「情報社会を生きる」の単元で、身の回りにあるメディアを比較し、それぞれの特徴を理解する学習が行われていました。生徒たちは新聞、テレビ、本、インターネット等、身近にある様々なメディアを「速報性」「詳細さ」「信頼性」の3つの観点で比較し、各メディアの特徴を理解します。ある生徒は「親から緊急時の情報を精査することが身を守ることに繋がると教わっていたから、授業でも言われて納得した。」と授業と実体験がつながり学習が深まっていました。

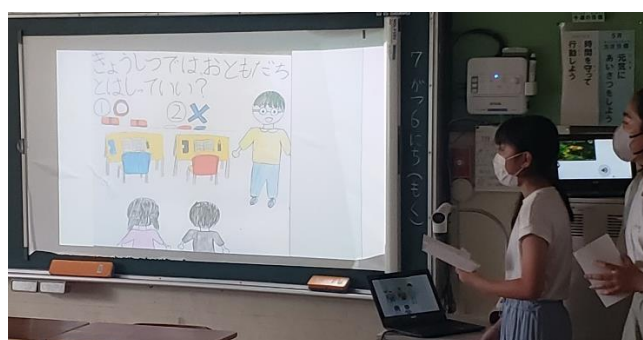
この単元の学習を通じて生徒は、「自分たちが受け取る情報の多くは、発信者の手で編集されていること。」「情報を探したり自分で発信したりするときに注意すること。」を学びました。学校では学習者用コンピュータを活用する活動だけでなく、教科の学習の活動を通して「ICTのよりよい使い手」になるための必要な知識や態度を育てています。

(裏面あり)

## 6年生が1年生に「紙芝居」を発表していました

市内の小学校6年生が図画工作の授業で作成したオリジナルストーリーの紙芝居を、学習者用コンピュータを活用して、1年生に向けた発表をしていました。

ある班は「学校探検」をテーマに紙芝居を作成しました。「教室では走っていい?」「廊下では走っていい?」「保健室では騒いでもいい?」「図書室で借りられる本の数は?」等、学校生活の様々な場面について、〇×クイズの形式で1年生に発表しました。



【6年生が作成した「学校探検」のスライド】



【楽しそうにクイズに参加している1年生】

1年生は発表を食い入るように聞いていました。読み手の問いかけに対して「いいと思う!」「え～駄目じゃない?」と元気よく反応していました。ある6年生の児童は「1年生が分かりやすい、喜んでもらえる物語を考えました。」と話していて、相手を意識した作品づくりが行われていました。

## 故障費が増大しています

学校では学習者用コンピュータの活用が進んでいます。先日行った、「武蔵野市学習者用コンピュータ活用に関するアンケート」では、7割近くの児童・生徒が「毎日使う」「週3～4回使う」と回答し、9割近くの児童・生徒が「学習者用コンピュータを活用すると授業が分かりやすくなる」と回答しました。

学校での活用が進む一方で故障機の数も増加しています。令和4年度は修理対応件数が約**700台**、修理費用が約**2400万円**かかりました。故障内容は約7割が「落下して破損した。」「踏んで割った。」といった**不注意による物理破損**となっています。「持ち運びの際はケースに入れる」「床や机の端には置かない」等、丁寧な使い方をしようご家庭でもお声掛けください。